

1km メッシュ単位で推定した農業統計のデータベース化

農業環境技術研究所

農林業センサスなどの農業統計データは市町村などの行政区画単位で集計されていますが、集水域などの自然の区画は行政区画とは異なった形状であることがほとんどです。そのため、農業環境研究において、農業統計データを自然環境のデータと組み合わせる解析することが困難でした。そこで、自然の区画に合わせて集計しやすい1km メッシュ単位の農業統計データに変換し、いろいろな目的に利用できるようにデータベース化を行いました。

農業集落単位で集計された作目別の耕地面積や家畜飼養頭数といった農業統計データを1kmメッシュ単位に変換し、これを全国及び都道府県単位にまとめて汎用性の高いCSV形式のデータファイルを作成しました。変換には農業集落地図と100mメッシュ土地利用データを組み合わせて1kmメッシュごとの耕地面積を推定する方法を用いました。

計算資源：農林水産統計データ

表1 データファイルの項目

以下の21項目のデータが1kmメッシュごとに記録されています。

データ項目 (単位)	データ項目 (単位)	データ項目 (単位)
メッシュコード (3次メッシュ)	作目別面積 (続き)	家畜飼養頭羽数
年次 (西暦)	工業農作物 (a)	乳用牛 (頭)
経営耕地面積 (a)	野菜類 (a)	肉用牛 (頭)
田 (a)	花き類 (a)	ブタ (頭)
畑 (a)	種苗 (a)	鶏 (100羽)
作目別面積	飼料用作物 (a)	
麦類 (a)	果樹・桑 (a)	
雑穀 (a)	茶 (a)	
いも類 (a)	その他 (a)	
豆類 (a)		

